

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

和泉市長 辻 宏康

市町村名 (市町村コード)	和泉市 (27219)
地域名 (地域内農業集落名)	仏並団地地区 (仏並町)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年11月10日 (第2回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

現状:当地区は、大阪外環状線からのアクセスが良く、隣接した道の駅の集客力を活かして様々な観光農園が展開されている。

課題:

- ・資材費の高騰、農業で生活が成り立たない
減農薬、減化学肥料栽培による経費の節減。
(多様な手法による防除の導入と、土壌診断結果に基づく肥料成分の施用量、施用方法を適切にし、効果的・効率的な施肥を行う。)
- ・観光農園の拡充

駐車場(調整池の一部埋立)やトイレの整備を検討。

ただし、本地区は農用地区域であるため、農業関連施設であっても建築物と見なされる場合は、関係法令間の調整が必要。

- ・鳥獣被害対策

<アライグマについて>

忌避剤、捕獲檻の貸出、電柵(※)の設置検討。

電柵(※)=鳥獣被害防止総合支援事業(国事業)・・・受益戸数:3戸以上、補助率:直営施工は定額、請負施工は1/2以内、但し上限単価あり。

<カラスについて>

防鳥ネットの設置(果樹振興会で補助)、鳥よけスピーカーの貸出。

<イノシシについて>

侵入防止の障害を設置、通行後の閉門を徹底する。忌避剤、電柵の設置検討。既存ワイヤーメッシュの前に目隠し(防草シートや寒冷紗)を設置することによって進入を未然防止。ワイヤーメッシュの管理徹底必要。電柵は維持管理難しい。

- ・担い手の確保

新規就農者をはじめ地域内外から多様な担い手を誘導。

- ・土地改良施設の維持管理

各種補助事業の活用による負担軽減。

(2) 地域における農業の将来の在り方

- ・周年の観光農園エリアにする
年間を通して観光農園ができる品目の拡大を目指す。

- ・遊休農地の貸出しと支援策

<和泉市遊休農地再生利用事業に係る補助金>

農空間の保全と遊休農地再生利用等を図るため、貸借の設定等により再生作業を行う年度から起算して5年間以上耕作する農業者や団体が、農地の再生作業(障害物除却、深耕、整地、土壌改良等)に係る経費が10アール当たり100,000円以上に相当する程度の作業に対して、1年間で10アール当たり50,000円を交付。

- ・賃借料の見直し

借り手の経営状況に応じた賃料の見直しを協議。

また、農用地区域における新規・継続の賃貸借権設定に対して方策を検討中。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	5.59 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	5.59 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	0 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

仏並農業団地

注: 区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針
地域での話し合いにより、農業委員をはじめ関係機関の調整の元、貸出意向の農地所有者に対する働きかけを行い、担い手への農地の集積を推進する。
(2) 農地中間管理機構の活用方針
担い手への集約や、新規就農者・企業の誘致・転貸を推進する。
(3) 基盤整備事業への取組方針
—
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針
地域内外から、多様な経営体を募り、関係機関と連携しながら担い手として育成していく。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針
個々の状況に応じ、農作業委託を検討する。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑩その他

【選択した上記の取組方針】

- ①アライグマやカラスの対策として、電気柵や防鳥ネット等の設置を検討。
⑩観光農園の拡充を検討。